

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和7年5月30日

部局等名	市民部	課かい名	市民課	推進責任者氏名	根岸 恵子
------	-----	------	-----	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	閉鎖した市民窓口センター2か所で使用していた物品の廃棄削減に向けて庁内での転活用照会して再活用につなげ、予算についても当初予定の約57%の執行で取めた。また、「書かない窓口」「戸籍広域交付」の実施に伴う6年度の紙使用の状況を見た上で、適正な購入と管理に努めていく。
	具体的内容	施設閉鎖により使用しなくなった物品等をできる限り転活用する。窓口運用の変化による紙の使用量の影響を確認し、計画的購入と適正な在庫管理に反映させる。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	終業後、職員帰宅前に課内のプリンター等の電源状態の確認を行うようにした。端末類は業務柄多くの機器を使用しているため、更なる使用量削減のために課員への取組徹底を行う。
	具体的内容	パソコンから離れる際はスリープモード等にし、プリンター、シュレッダーは終業時電源を切ることを徹底する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	課内で情報共有・交換にLogoチャットを積極的に活用、資料の共有化も電子で行った。紙で打ち出す際も裏紙使用やページをまとめる等して、使用枚数の削減に努めた。
	具体的内容	資料や情報の共有手段として、電子媒体を活用するとともに、紙での作成物は必要最低限にする。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

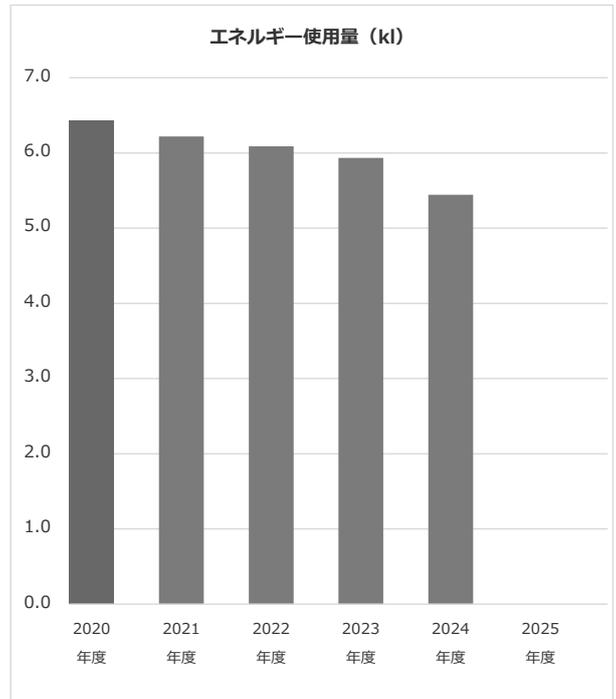
実績	前年度比	-8.3%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	(※出先機関については別ファイルで報告)			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	249.0	241.0	236.0	230.0	211.0	
エネルギー使用量(kl)	6.4	6.2	6.1	5.9	5.4	0.0
対前年度比(%)	—	-3.2%	-2.1%	-2.5%	-8.3%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	香川駅前出張所	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
2	辻堂駅前出張所	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	・5/28開催の研修内容・資料を課員に周知し、6年度計画策定に向けての意識付けをした。 ・6月の実施計画策定時に策定内容について課員全員に周知を図り、取組を促した。
法令遵守確認研修	■ 実施	辻堂駅前及び香川駅前出張所についてフロン排出抑制法の概要について前年に引き続き周知を行い、職員間での共有を図った。
新任・異動者研修	■ 実施	年度途中での異動者に対して、「取組目標設定研修」の内容を知らせるとともに当該資料の確認をしてもらうこととした。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量については、所管施設における取り組みもあり、課として全庁目標達成に向けて寄与できた。チャット活用により、多くの職員が同時期に情報確認できることで、事務効率化の効果も出ている。また、閉鎖した市民窓口センターの物品を庁内や出張所で再活用することで、資源活用や廃棄物の削減につなげることができた。	業務に関連して多くの端末類を使用しているため、できるだけスリープモード等を実施するとともに、電源の「入・切」をこまめに確認してエネルギー使用量削減に努める。「書かない窓口」や「戸籍広域交付」といった住民サービス向上につながる取組に伴い、聞き取り後の申請書や広域交付する戸籍を一概に減らすことは難しいので、必要な紙類の計画的購入と在庫管理を引き続き行っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月20日

部局等名	市民部	課かい名	市民課 辻堂駅前出張所	推進責任者氏名	牧野 譲治
------	-----	------	-------------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	駅前市民窓口センターや萩園市民窓口センターの閉鎖により、転活用できるものを廃棄せず積極的に活用し、特に消耗品の予算執行の抑制にも繋げた。
	具体的内容	施設閉鎖により使用しなくなった物品等をできる限り転活用する。窓口運用の変化による紙の使用量の影響を確認し、計画的購入と適正な在庫管理に反映させる。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	終業時に、窓口受付状況を確認し、明らかに電源を切って良い端末・プリンターから優先的に電源を落とすことに努めた。シュレッダーについては、使用する時のみ電源を入れ、使い終わったら電源を切ることを徹底した。
	具体的内容	パソコンから離れる際はスリープモード等にし、プリンター、シュレッダーは終業時電源を切ることを徹底する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	情報共有には積極的にロゴチャットを使用し、資料を電子媒体で添付することにより、紙の使用量を減らしました。
	具体的内容	資料や情報の共有手段として、電子媒体を活用するとともに、紙での作成物は必要最低限にする。	

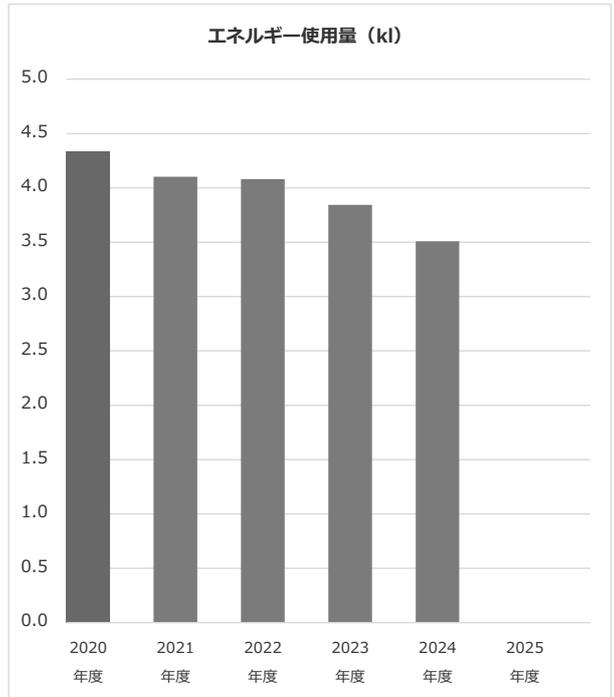
【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比	-8.7%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	クールビズの推奨や積極的な換気、また、サーキュレーターを使用してエアコンを効果的・効率帝に使用したことが、省エネの効果として表れたものと推察する。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	168.0	159.0	158.1	149.0	136.0	
エネルギー使用量(kl)	4.3	4.1	4.1	3.8	3.5	0.0
対前年度比(%)	—	-5.4%	-0.6%	-5.8%	-8.7%	-100.0%

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	辻堂駅前出張所	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5/28開催の研修内容・資料を課員に周知し、6年度計画策定に向けての意識付けをした。
法令遵守確認研修	■ 実施	フロン排出抑制法に基づいて空調設備の点検が必要である旨の周知を行った。
新任・異動者研修	■ 実施	4月の異動者1人を対象に、所内のエコの取り組みについて共有した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量については、所管施設における取り組みもあり、課として全庁目標達成に向けて寄与できた。チャット活用により、多くの職員が同時期に情報確認できることで、事務効率化の効果も出ている。また、閉鎖した市民窓口センターの物品を庁内や出張所で再活用することで、資源活用や廃棄物の削減につなげることができた。	業務に関連して多くの端末類を使用しているため、できるだけスリープモード等を実施するとともに、電源の「入・切」をこまめに確認してエネルギー使用量削減に努める。「書かない窓口」や「戸籍広域交付」といった住民サービス向上につながる取組に伴い、聞き取り後の申請書や広域交付する戸籍を一概に減らすことは難しいので、必要な紙類の計画的購入と在庫管理を引き続き行っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月27日

部局等名	市民部	課かい名	市民課 香川駅前出張所	推進責任者氏名	高橋 郷司
------	-----	------	-------------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	業務に使用する物品等はできる限り転活用に努めるとともに、物品購入を計画的に行うことで適正な在庫管理を行った。
	具体的内容	施設閉鎖により使用しなくなった物品等をできる限り転活用する。窓口運用の変化による紙の使用量の影響を確認し、計画的購入と適正な在庫管理に反映させる。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	終業時は職員全員で各種機器の電源を切ることを徹底し、帰宅時に再度施設内全体の電源状態を確認するようにした。
	具体的内容	パソコンから離れる際はスリープモード等にし、プリンター、シュレッダーは終業時電源を切ることを徹底する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	情報の共有手段としてLogoチャットを積極的に活用するとともに、資料等には、両面印刷や再利用紙の裏面を利用し、紙での作成物を削減した。
	具体的内容	資料や情報の共有手段として、電子媒体を活用するとともに、紙での作成物は必要最低限にする。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

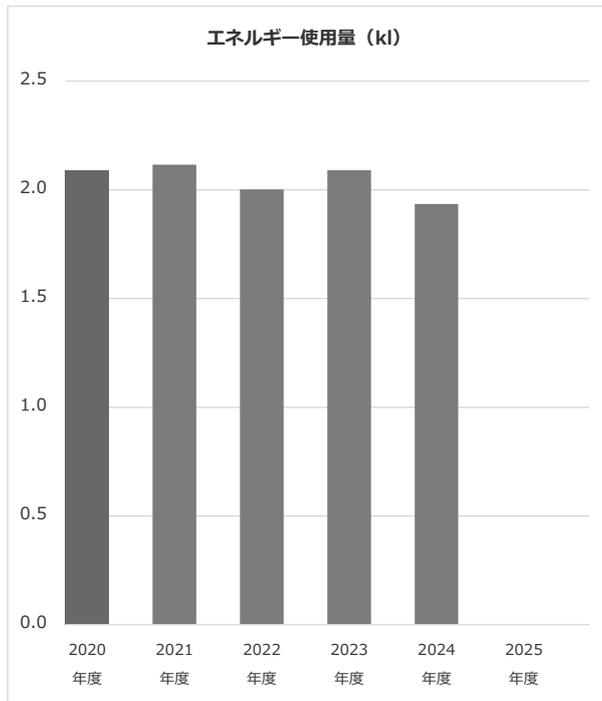
実績	前年度比	-7.4%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	香川駅前出張所の正規職員全員で8:15～17:00勤務を実施し、皆が常に節電を心掛けたことが施設全体のエネルギー使用量の削減につながった。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	81.0	82.0	77.6	81.0	75.0	
エネルギー使用量(kl)	2.1	2.1	2.0	2.1	1.9	0.0
対前年度比(%)	—	1.2%	-5.4%	4.4%	-7.4%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	香川駅前出張所	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を2回/年実施した。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5/28開催の研修内容・資料を課員に周知し、6年度計画策定に向けての意識付けをした。
法令遵守確認研修	■ 実施	フロン排出抑制法に基づいて空調設備の点検が必要である旨の周知を行った。
新任・異動者研修	■ 実施	朝礼において節電に向けた目標や取り組みについて情報を共有した。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量については、所管施設における取り組みもあり、課として全庁目標達成に向けて寄与できた。チャット活用により、多くの職員が同時期に情報確認できることで、事務効率化の効果も出ている。また、閉鎖した市民窓口センターの物品を庁内や出張所で再活用することで、資源活用や廃棄物の削減につなげることができた。	業務に関連して多くの端末類を使用しているため、できるだけスリープモード等を実施するとともに、電源の「入・切」をこまめに確認してエネルギー使用量削減に努める。「書かない窓口」や「戸籍広域交付」といった住民サービス向上につながる取組に伴い、聞き取り後の申請書や広域交付する戸籍を一概に減らすことは難しいので、必要な紙類の計画的購入と在庫管理を引き続き行っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月27日

部局等名	市民部	課かい名	市民課 ハマミーナ出張所	推進責任者氏名	後藤 篤志
------	-----	------	--------------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	施設閉鎖により使用しなくなった物品等(契印機やコインケース等の消耗品)を転活用し、廃棄物の削減に努めた。また、物品購入についても、計画的に行い余剰減に努めた。
	具体的内容	施設閉鎖により使用しなくなった物品等をできる限り転活用する。窓口運用の変化による紙の使用量の影響を確認し、計画的購入と適正な在庫管理に反映させる。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	プリンター、シュレッダーは終業時電源を切ることを徹底した。また、所長卓上にある一人1台端末については、できるだけスリープモード等の省電力に努めた。
	具体的内容	パソコンから離れる際はスリープモード等にし、プリンター、シュレッダーは終業時電源を切ることを徹底する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	資料等の共有手段としてLogoチャット等の電子媒体を活用した。また、紙の両面印刷や裏面利用を心がけた。
	具体的内容	資料や情報の共有手段として、電子媒体を活用するとともに、紙での作成物は必要最低限にする。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

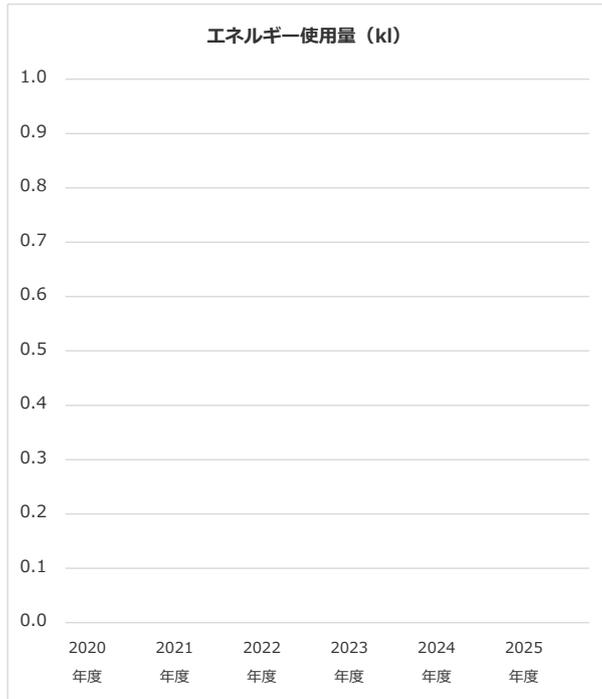
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5/28開催の研修内容・資料を課員に周知し、6年度計画策定に向けての意識付けをした。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	新任所長は前任者作成資料等の再確認を行い、新たに配属となった職員に対しては所長より市民課の取組目標についての周知を行った。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量については、所管施設における取り組みもあり、課として全庁目標達成に向けて寄与できた。チャット活用により、多くの職員が同時期に情報確認できることで、事務効率化の効果も出ている。また、閉鎖した市民窓口センターの物品を庁内や出張所で再活用することで、資源活用や廃棄物の削減につなげることができた。	業務に関連して多くの端末類を使用しているため、できるだけスリープモード等を実施するとともに、電源の「入・切」をこまめに確認してエネルギー使用量削減に努める。「書かない窓口」や「戸籍広域交付」といった住民サービス向上につながる取組に伴い、聞き取り後の申請書や広域交付する戸籍を一概に減らすことは難しいので、必要な紙類の計画的購入と在庫管理を引き続き行っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和7年5月20日

部局等名	市民部	課かい名	小出支所	推進責任者氏名	石井 亨
------	-----	------	------	---------	------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品の計画的な購入と再利用に努めた。また、ごみ箱に「持ち込んだごみは持ち帰りましょう」と表示し、職員にごみの分別の意識付けを行った。
	具体的内容	事務用品の計画的な在庫管理と可能な限りの再利用を図る。また、執務室内のごみの分別を徹底するため、ごみ箱に分別表示を設置する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	施設利用者の方にも協力してもらい、適切な室温管理及びクールビズ・ウォームビズを全職員で取り組んだ。スリープ機能等を利用しOA機器の節電に努めた。
	具体的内容	施設の適切な室温管理及びクールビズ・ウォームビズを励行する。OA機器の節電等を徹底する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	資料等の印刷物を共有するなど、できる限り資源の削減に努めた。
	具体的内容	印刷物の必要性及び適正部数も見直すなど更なる削減を図る。また、紙の再利用を徹底する。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

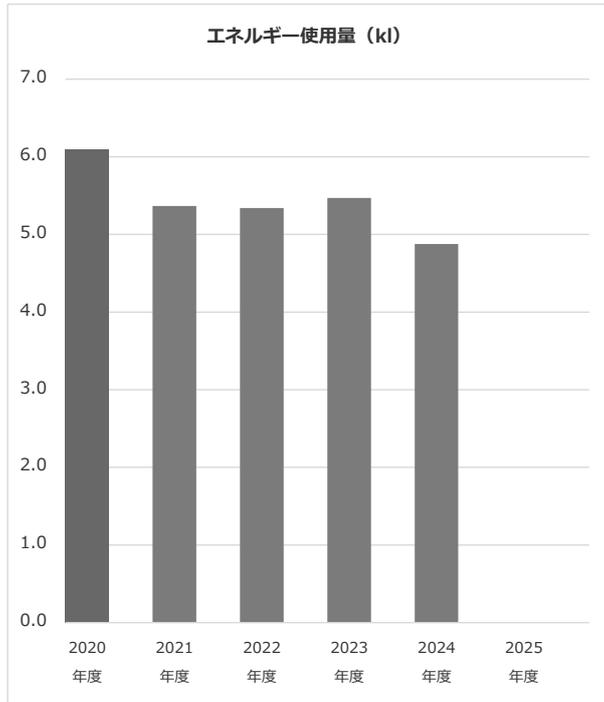
実績	前年度比	-10.8%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	適切な室温管理の徹底及び職員の節電意識の向上により目標達成できた。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	236.0	208.0	207.0	212.0	189.0	
エネルギー使用量(kl)	6.1	5.4	5.3	5.5	4.9	0.0
対前年度比(%)	—	-11.9%	-0.5%	2.4%	-10.8%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	小出支所	計画	施設利用者へ空調、照明利用の省エネ協力を依頼する。
		実績	各部屋に省エネ協力の掲示を行い、空調の温度設定は職員が管理するよう徹底した。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月10日に実施（対象者6名全員参加）。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月10日に実施（対象者6名全員参加）。支所において環境法令に該当するフロン排出抑制法及び浄化槽法について周知を図った。
新任・異動者研修	(選択してください)	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月20日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
職員の環境意識も高まり、適切な室温管理及び節電に努め、資源の有効利用及び廃棄物の削減についても各自積極的に取り組むことができた。	引き続き、職場内で環境に関するニュースや他の職場の状況等情報共有し、各自が自発的に環境に配慮した取り組みができるよう研修等の機会を作っていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月23日

部局等名	市民部	課かい名	小出支所(斎場)	推進責任者氏名	石井亨
------	-----	------	----------	---------	-----

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	使用できるものは、再利用に努めた。従事職員で取り組みを継続していく。
	具体的内容	物品は、計画的に購入し適切に在庫管理を行う。また、事務用品の共有化及び再利用を行う。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	施設の節電、エネルギー使用量の削減に努めた。取り組みを継続していく。
	具体的内容	施設の適切な室温管理及びOA機器の節電等を徹底する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	両面印刷。裏紙利用並びに資料の共有化を進めた。取り組みを継続していく。
	具体的内容	印刷物等は、適切な部数の印刷を徹底する。また、再利用ボックスを利用し、裏紙利用を推進する。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

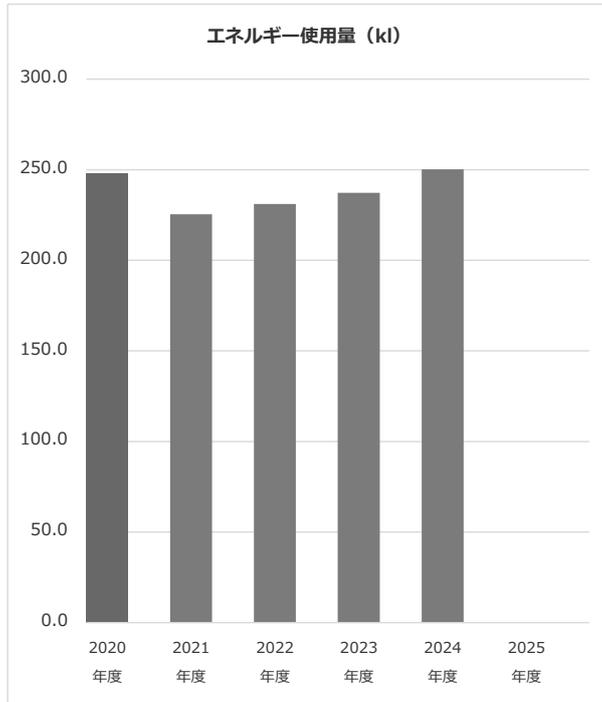
実績	前年度比	5.5%	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	火葬件数の増加及び夏季・冬季において、健康面を考えて空調を使用せずにはいかなかった。よって、目標は達成できなかった。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	9613.0	8739.0	8957.0	9194.0	9696.0	
エネルギー使用量(kl)	248.0	225.5	231.1	237.2	250.2	0.0
対前年度比(%)	—	-9.1%	2.5%	2.6%	5.5%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	斎場	計画	利用者に空調、照明利用の省エネルギーの取り組みへの協力を依頼する。
		実績	夏季・冬季において、利用者の健康管理を踏まえ、空調を使用せざるを得なかった。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月31日実施（対象者5名）。C-EMSの概要と当年度の〔重点確認項目〕について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取り組みを検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月31日実施（対象者5名）環境法令に該当する項目について周知した。
新任・異動者研修	(選択してください)	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	
電気及び燃料の高騰の影響もあり、従事職員の環境意識が高まり適切な室温管理及び節電管理を徹底したが、火葬件数の増加、猛暑及び極寒の影響もありエネルギー使用量が増加してしまった。	引き続き、環境に配慮し継続して節電・省エネルギーの取り組みをすすめていく。従事職員で現状について情報共有を図って節電、省エネルギーを進めていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月26日

部局等名	市民部	課かい名	収納課	推進責任者氏名	谷川 広志
------	-----	------	-----	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	簡単な情報共有については、昨年度からの継続的な取り組みにより概ねロゴチャットを活用できた。今後はロゴチャットの機能を習熟し、新たな周知方法を模索し、さらなる紙資源の削減に努めたい。
	具体的内容	業務における情報共有などにロゴチャットを活用し、廃棄することになる紙を削減する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	電動アシスト付き自転車の活用により自転車での活動範囲が拡大した結果、公用車の利用が減った。
	具体的内容	公用車での現地調査や臨場の際、アイドリングストップ・エコ運転を徹底する。自転車等の代替手段も活用する。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	通常業務に加え、システム標準化の導入に向けた作業があり、時間外勤務の削減はできなかった。
	具体的内容	前年度比で時間外勤務を削減することにより、照明・PC等に係るエネルギー使用量を縮減する。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

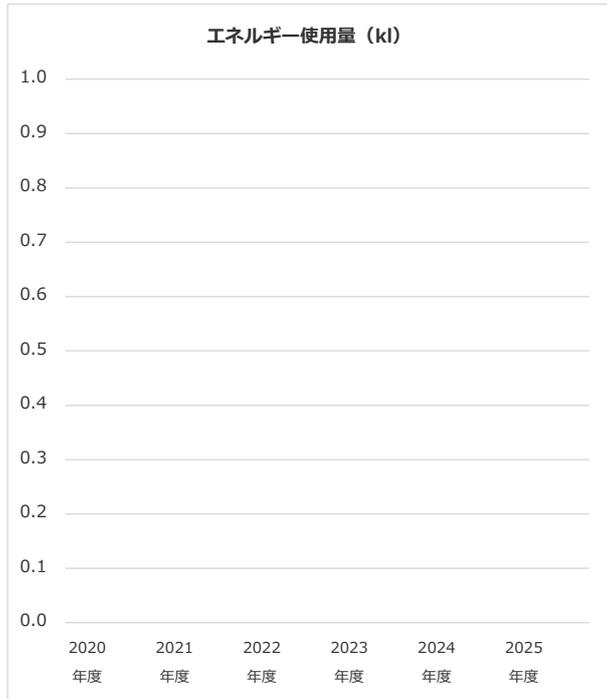
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	窓口課であること、短時間勤務職員が複数在籍していることなどから、集まったの研修は困難であるため、文書システム及びロゴチャットを活用し、取組目標について、周知・共有を図った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	0
新任・異動者研修	■ 実施	4月新採用及び異動者には、4月24日の研究会にて、また、10月新採用及び異動者には10月7日の担当打ち合わせの中で目標や課題を共有した。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月26日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
取組目標の達成に向け、ロゴチャットの活用は概ねできたと考えている。さらに電子上での情報共有が主流となるよう声掛けを行っていききたい。 一方で、システム標準化の導入及び円滑な運用のためには、時間外勤務が不可欠であるため、時間外勤務を切り口にエネルギー使用量の削減を目指すのは困難であると考えている。	エネルギー使用量の削減という目的から公用車利用の抑制を行うためには、電動アシスト付き自転車の活用が大いに貢献できると思うので、利用しやすい環境を整備するなどし、積極的な利用を促進したい。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和7年5月26日

部局等名	市民部	課かい名	市民税課	推進責任者氏名	伊東 仁弘
------	-----	------	------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	消耗品の在庫管理・事務用品の収納場所を整理し、必要なものの選別を行った。余剰の材料の購入は見直され、必要な分の把握等、効果的な活用を行うことができた。 リース機器終了を見据え、プリンタのトナーの数量を精査する。 ロゴチャットの活用により、紙の利用削減を推進した。
	具体的内容	確定申告事務の業務を効率化し消耗品などの量の多い事務用品を見直す。再利用できるものとできないものを整理する。ロゴチャットの活用により、紙の利用削減を行い廃棄物削減を実施する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	各業務の効率化を図るため、現在の業務の見直し及び効率的な業務の検討を行った。 会計年度任用職員に業務依頼、RPA等を活用することで可能な部分で業務の標準化を行った。しかしながらベテラン職員の異動とR8年1月稼働する標準化システムに係る作業のため、時間外勤務の削減はできなかった。 今後、引き続き業務効率化を検討し、時間外削減の取り組みを続けていく。
	具体的内容	業務の効率化を図り、残業はできる限り行わない意識を醸成する。特にノー残業デーは定時に帰宅しやすい環境を作る。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	職員各自が働きやすい服装を意識し、エネルギー使用量の削減しつつ季節の寒暖に対応して体調管理を行っている。
	具体的内容	クールビズ・ウォームビズを活用する。各自環境に配慮した働きやすい服装でエネルギー使用量を控えることを意識して、業務を行う。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

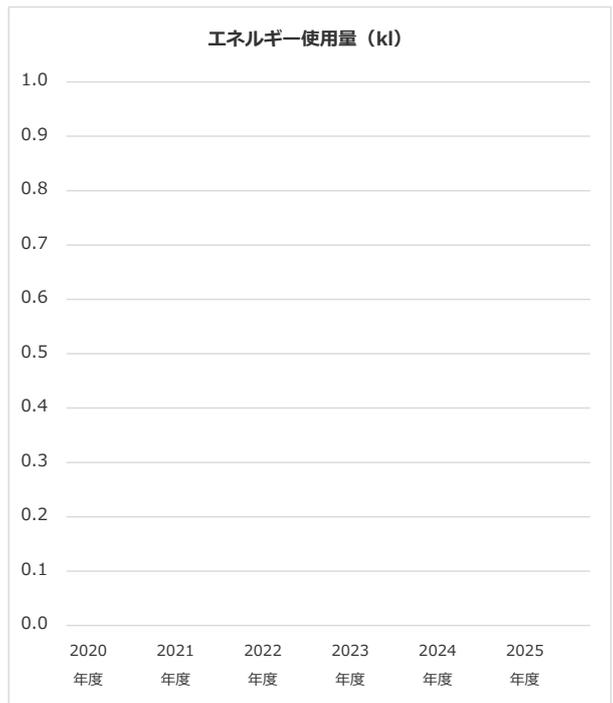
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	ロゴチャット及び資料閲覧により開催。 (当初賦課事務の繁忙期により全課員を集めての研修の実施が難しいため)
法令遵守確認研修	■ 実施	ロゴチャット及び資料閲覧により開催。 (当初賦課事務の繁忙期により全課員を集めての研修の実施が難しいため)
新任・異動者研修	■ 実施	本項目は策定時には予定していなかったが、新任・異動者が複数いたため取組目標設定研修の確認と同時に行った。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月26日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
目標はおおむね達成できている。 時間外勤務の縮減については、各職員で工夫し、協力し合える環境づくりができているが、異動によるベテラン職員減少により実績値は増加となってしまった。 ロゴチャットの活用により、エネルギー使用量の削減及び資源の有効活用の両方を図れている。 実績に関する評価は、高く評価できるものである。	時間外の縮減は協力体制のさらなる推進を進めていく。 エネルギー使用量の削減に向けて今後も職員の意識を醸成し続けていく。 自発的に電灯の消灯など職員一人一人の行動がエネルギー使用量の削減につながるように課内で協力し活動を続けていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月27日

部局等名	市民部	課かい名	資産税課	推進責任者氏名	藤木 徹也
------	-----	------	------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	封筒の再利用の他に、会議資料は出来る限り再利用用紙を使用し、意識共有が図れる程度に簡略化を行った。
	具体的内容	封筒等内部に向けたものは、繰り返し使用する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	土地・家屋の評価事務のため現地調査に出動することが多かったが、自転車の利用促進を図った。
	具体的内容	近郊の現場調査には自転車を利用し、公用車の利用の削減を図る。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	一年間通じて遂行することが出来た。
	具体的内容	ゼムクリップ、ファイル等の再利用を促進する。また会議等の資料を精査し、必要最低限の数にする。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

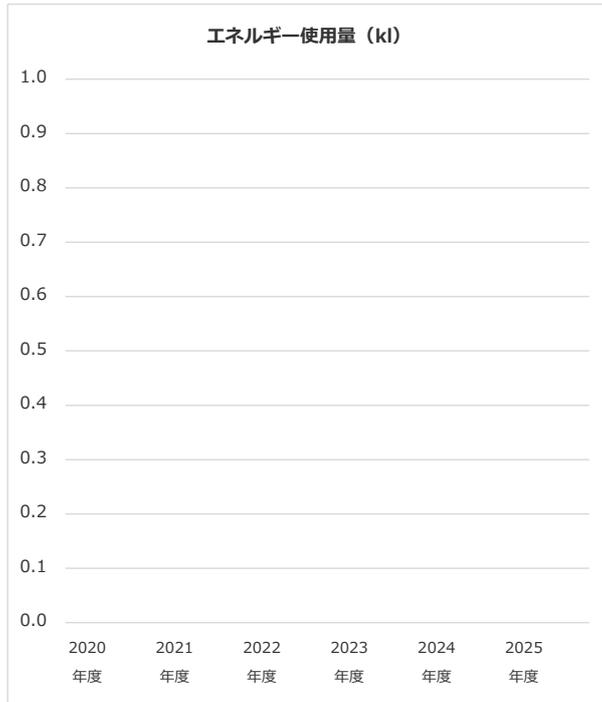
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	0.0	0.0	0.0	0.0		
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	0	計画	0
		実績	
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月3日に課内研修を実施（対象者23名中23名参加。不参加者には別途決定事項を周知）。C-EMSの概要等について研修資料により説明を行い、6年度の取組目標について検討するとともに、課内における具体的な取組を検討した。
法令遵守確認研修	(選択してください)	0
新任・異動者研修	(選択してください)	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	
<p>具体的な対応策は取られているが、職員の環境活動に対する関心が徹底されていない部分もあり、次年度からは、独自でC-EMSを推進する際には職員自らの意識付けが重要であり、そのための具体的な対応が必要である。</p>	<p>課内研修で職員の意識付けを行うのは限界がある。職員各自で小さな案件でも環境への取り組みのアイデアがあれば、即課内で情報共有し、自発的な取り組み意識を育てる契機を即時に作っていく。</p>